

農業セミナー（畜産コース）開講式を開催！

今年度、畜産業の担い手として就農された4年目までの方（以下 セミナー生）を対象に農業セミナー（畜産コース）の開講式を5月22日（月）にかながわ農業アカデミーの講義室で開催しました。当日は5名のフレッシュな畜産の担い手が会場に足を運んでくださり、セミナー生の内訳は、酪農2名、養豚1名、採卵鶏2名で、就農1年目の方が2名、3年目の方が2名、4年目の方が1名の合計5名でした。

初めて参加したセミナー生は、初めは緊張していましたが、普及指導員の自己紹介に引き続いて行ったセミナー生の自己紹介をするころには、緊張感も緩み始めました。

最初に、畜産に関する知識の習得のため、全ての畜種に共通の課題である「家畜ふん堆肥化処理の基礎について」普及指導員から講義を行いました。畜産経営に必要な不可欠な内容であるため、セミナー生は熱心に講義に耳を傾けていました。

次に、畜産ブランド推進協議会幹事会ワーキンググループ（事務局：（一社）神奈川県畜産会）が作成した、生産者の意気込みや安全でおいしい畜産物生産のための取り組みを広く知ってもらうための、酪農、肉牛及び養豚の生産現場のPR動画をスクリーンで上映したところ、一部のセミナー生の姿が動画内に見受けられ、皆真剣に視聴していました。

続いて、各自の技術や知識の習得状況を可視化するために、「農業セミナー巡回チェックシート」を作成しました。これは、飼養管理、経営技術、衛生管理、生活技術、ネットワークの各項目について、普及指導員の助言を受けながら、現在の状況を採点し1年後の目標数値を記録するものです。最後に、作成したチェックシートを用いて、セミナー生同士の意見交換を行いました。就農3、4年目の先輩セミナー生は、就農1年目のセミナー生からの質問に対し、的確なアドバイスを送っていました。

今年度の農業セミナーには1年目のセミナー生が参加しており、経営のために必要な技術習得を目指すとともに、セミナーを通じて、仲間とのコミュニケーションやネットワークづくりを進め、農業者としての意識の向上も促すような支援を行っていきます。



普及指導員による講義



チェックシートの作成



開講式に参加したセミナー生と普及指導員